

(解説文の改訂案)

論文のカテゴリー変更およびオーサーシップについて

2020年4月1日

2020年12月23日

編集委員 前川 佳一

グローバルビジネスジャーナルでは、これまで以上に皆様から投稿いただけますよう、下記のような変更をいたします。趣旨は、以下のとおりです。

- ・事例研究(査読付き)では、自由論題よりも速報性、分析、モデル化に比重を置くこと、
- ・公募による特集論文は、自由論題、事例研究いずれのカテゴリーでも可とすること、
- ・実践研究(査読付き)では、実際の事業成果を公開できる場としての意義づけをすること
- ・併せて、オーサー足り得る基準を明記すること

参考:対比表

	ベース	要件	体裁	オーサー該当者
自由論題 (査読付き)	理論または 実証	独創性	完結した論文 (たとえば「目的、先行研究、方法、結果、考察、参考文献」など)	研究の着想と企画、データの取得、分析、解釈に 実質的な貢献をした者 論文の知的内容を執筆 または改訂した者 最終版を承認した者
実践研究 (査読付き)	(当事者による)実践 事例	新規性 および 真実性	プロジェクトや ビジネスの詳細な記述や改善案	上記3条件にあてはまる、 事例対象に直接関与した すべての者
事例研究 (査読付き)	(観察者による)事例 分析やデータ	独創性 または 速報性	分析やモデルの 提案 (形式的には上記の自由論題に 準ずることが望ましい)	上記3条件に当てはまる 者、すなわち事例対象に直接 関与した者であっても 情報提供のみを行なった 者は著者として認めない

注1: 公募による特集論文は上の**どちらかどれか**でよい

注2: 「報告」は、上の表のどれかが欠けていてもよい

注3: 正確な定義は、下記の投稿規定からの抜粋を参照のこと

この変更により会員の皆様には、自由論題と事例研究、ともに査読付きながら、この区別がわかりやすくなり、また、ご投稿いただきやすくなると考えております。奮ってご投稿いただきますよう、よろしくお願いいたします。以上